

令和2年5月 全国百貨店売上高概況

令和2年6月23日

I. 概況

1. 売上高総額	1, 515億円余
2. 前年同月比	-65.6% (店舗数調整後/8か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	73社 203店 (令和2年4月対比±0店)
4. 総店舗面積	5,231,103㎡ (前年同月比:-2.9%)
5. 総従業員数	61,669人 (前年同月比:-7.2%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	10-12月 -8.8%、11-1月 -4.7%、12-2月 -6.3%、 1-3月 -16.8%、2-4月 -39.7%、3-5月 -56.1%

[参考] 令和元年5月の売上高増減率は-0.8% (店舗数調整後)

【特徴】

5月は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の下、全国の会員店が営業自粛を余儀なくされたが、月の後半からは宣言の段階的解除を受けて、順次各店の営業再開が進んだ。これにより、月初から中旬まで前年を大幅に下回っていた売上高減少率も、最終的には過去最大を記録した前月(72.8%減)から若干(7.2ポイント)持ち直す結果となった。

地区別では、地方(10都市以外の地区)が56.8%減、営業自粛の影響が大きい大都市(10都市)は69.0%減と、その差は前月より0.4ポイント拡大し12.2ポイントとなった。

インバウンドは、入国規制や臨時休業による免税カウンター閉鎖等を背景に、売上高97.5%減(7.7億円/4か月連続/シェア0.5%)、購買客数99.3%減(4か月連続)と、依然厳しい状況が続いている。一方、国内市場は63.2%減(8か月連続/シェア99.5%)と7.4ポイント改善した。

商品別では、外出自粛で巣ごもり消費の傾向が強まり、食料品(45.2%減)やライフスタイル関連(家庭用品:54.9%減)が相応に健闘し、生鮮三品や惣菜、和洋酒、生菓子、寝具、キッチン・リビング用品、家電などが動いた。また、衣料品(74.1%減)や身のまわり品(74.5%減)等のファッション商材では、羽織物、ブラウス、カットソー、パラソル、帽子などに動きが見られた。更に春のお祝いニーズからギフト関連も堅調だった。その他、増勢が続くネット通販等非店頭売上は好調で、業績を下支えしている。

【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「5月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇南からの暖かい空気に覆われやすかったため、全国的に気温が高く、北・東・西日本でかなり高かった。降水量は、東日本日本海側でかなり少なく、北・東日本太平洋側で少なかった。また、日照時間は東日本太平洋側が多かった。

(2) 営業日数増減 26.0日(前年同月比 -4.8日)

(3) 土・日・祝日の合計 13日(" +1日/土曜・日曜各1日増、国民の休日1日減)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見ると傾向値/前年同月比/有効回答数114店舗)

①増加した:7店、②変化なし:3店、③減少した:104店

(5) 5月歳時記(GW、母の日)の売上(同上/有効回答数83店舗)

①増加した:6店、②変化なし:6店、③減少した:71店

全国百貨店 売上高速報 2020年5月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
全国	151,542,481	100.0	-65.6 (-65.9)
10都市	97,893,396	64.6	-69.0 (-69.0)
札幌	2,016,463	1.3	-83.4
仙台	2,973,053	2.0	-45.6
東京	34,795,254	23.0	-71.6 (-71.7)
横浜	9,515,716	6.3	-64.9
名古屋	9,841,054	6.5	-64.7
京都	5,277,543	3.5	-71.1
大阪	21,264,623	14.0	-68.0
神戸	3,626,850	2.4	-63.8 (-65.9)
広島	3,328,590	2.2	-62.6
福岡	5,254,250	3.5	-68.2
10都市以外の地区	53,649,085	35.4	-56.8 (-58.1)
北海道	400,309	0.3	-58.1
東北	3,227,882	2.1	-39.4 (-48.5)
関東	19,444,225	12.8	-63.8 (-65.9)
中部	3,855,317	2.5	-60.3 (-62.3)
近畿	9,374,641	6.2	-47.2 (-46.2)
中国	4,868,059	3.2	-48.9
四国	2,753,726	1.8	-60.7
九州	9,724,926	6.4	-50.8

第2表 商品別売上高

商品別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
総 額	151,542,481	100.0	-65.6 (-65.9)
紳士服・洋品	7,426,751	4.9	-74.6 (-74.8)
婦人服・洋品	19,185,505	12.7	-77.5 (-77.8)
子供服・洋品	5,187,161	3.4	-51.3 (-52.6)
その他衣料品	2,924,849	1.9	-66.9 (-67.5)
衣 料 品	34,724,266	22.9	-74.1 (-74.4)
身のまわり品	15,463,963	10.2	-74.5 (-74.8)
化粧品	12,643,150	8.3	-73.8 (-74.0)
美術・宝飾・貴金属	5,950,242	3.9	-80.0 (-80.2)
その他雑貨	5,835,646	3.9	-59.9 (-61.6)
雑 貨	24,429,038	16.1	-73.6 (-73.9)
家具	2,323,907	1.5	-51.0 (-51.7)
家電	943,270	0.6	-21.3 (-21.4)
その他家庭用品	4,821,146	3.2	-59.8 (-60.4)
家 庭 用 品	8,088,323	5.3	-54.9 (-55.6)
生鮮食品	15,779,136	10.4	-23.7 (-25.1)
菓子	11,932,048	7.9	-58.0 (-58.2)
惣菜	14,091,260	9.3	-46.3 (-46.8)
その他食料品	16,780,212	11.1	-46.9 (-48.3)
食 料 品	58,582,656	38.7	-45.2 (-46.0)
食堂 喫茶	1,620,414	1.1	-86.6 (-86.9)
サービス	1,583,959	1.0	-67.4 (-68.0)
その他	7,049,862	4.7	-27.9 (-23.0)
商 品 券	4,070,354	2.7	-51.2 (-51.2)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | | |
|------------------|--------|--------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -69.0% | (店舗数調整後/8か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -56.8% | (店舗数調整後/8か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-69.0	-49.6	8か月連続マイナス
札幌	-83.4	-2.3	4か月連続マイナス
仙台	-45.6	-0.6	3か月連続マイナス
東京	-71.6	-20.2	8か月連続マイナス
横浜	-64.9	-4.0	8か月連続マイナス
名古屋	-64.7	-4.1	8か月連続マイナス
京都	-71.1	-3.0	8か月連続マイナス
大阪	-68.0	-10.4	8か月連続マイナス
神戸	-63.8	-1.1	8か月連続マイナス
広島	-62.6	-1.3	4か月連続マイナス
福岡	-68.2	-2.6	8か月連続マイナス
10都市以外の地区	-56.8	-15.9	8か月連続マイナス
北海道	-58.1	-0.1	4か月連続マイナス*
東北	-39.4	-0.5	4か月連続マイナス*
関東	-63.8	-7.9	8か月連続マイナス
中部	-60.3	-1.3	8か月連続マイナス
近畿	-47.2	-1.7	8か月連続マイナス
中国	-48.9	-1.1	8か月連続マイナス*
四国	-60.7	-1.0	8か月連続マイナス
九州	-50.8	-2.3	8か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、8か月連続で全品目がマイナスとなった。また、その他の品目も4か月連続で全品目がマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-65.6	—	8か月連続マイナス
紳士服・洋品	-74.6	-5.0	8か月連続マイナス
婦人服・洋品	-77.5	-15.1	8か月連続マイナス
子供服・洋品	-51.3	-1.2	8か月連続マイナス
その他衣料品	-66.9	-1.4	8か月連続マイナス
衣料品	-74.1	-22.7	8か月連続マイナス
身のまわり品	-74.5	-10.3	8か月連続マイナス
化粧品	-73.8	-8.1	4か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-80.0	-5.4	4か月連続マイナス*
その他雑貨	-59.9	-2.0	8か月連続マイナス*
雑貨	-73.6	-15.6	8か月連続マイナス
家具	-51.0	-0.6	8か月連続マイナス
家電	-21.3	-0.1	4か月連続マイナス
その他家庭用品	-59.8	-1.6	8か月連続マイナス
家庭用品	-54.9	-2.3	8か月連続マイナス
生鮮食品	-23.7	-1.1	19か月連続マイナス*
菓子	-58.0	-3.7	4か月連続マイナス*
惣菜	-46.3	-2.8	8か月連続マイナス*
その他食料品	-46.9	-3.4	8か月連続マイナス*
食料品	-45.2	-11.0	8か月連続マイナス
食堂喫茶	-86.6	-2.4	8か月連続マイナス
サービス	-67.4	-0.8	3か月連続マイナス
その他	-27.9	-0.6	3か月連続マイナス
商品券	-51.2	-1.0	111か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>